

YOSANO

広報よさの

No.21

●今月の表紙
よさの大江山登山マラソン大会
(9月30日撮影)



特集
平成18年度決算報告
与謝野町総合計画案意見募集

2007
11

広報よさの 11 2007 No.21

発行：与謝野町役場 編集：企画財政課
住所：〒629-2292 京都府与謝野町字岩瀬1798番地1

TEL：0772-46-3084(直通) URL：http://www.tomiyosanog.jp/
FAX：0772-46-4630 E-mail：kkakuzisei@tomiyosanog.jp



野田川町商工会青年部 堀尾知弘さん

このまちを全国の人に 知ってもらいたい



ほりお ともひろ TOMOHIRO HORIO

1978年生まれの29歳。石川在住。家電販売業を営む傍ら、現在は野田川町商工会青年部の副部長を務める。全国大会へ向け、車での移動中や夜間の誰もいなくなった店内での練習を欠かさない。

「やるからには勝ちたい」。この思いで今まで三度の舞台に立った。今回の「よさの人」堀尾さんは、商工会青年部の主張発表大会で、京都府北部ブロック予選、京都府大会、近畿ブロック予選を全て最優秀賞という成績で、京都府北部の青年部員としては初めて、「全国商工会青年部主張発表大会」(十一月十四日・宮城県仙台市)への切符を手にした。

「つた主張を発表するもの。京都府大会では「野田川万燈」を題材にまちや仲間を思う気持ちを、近畿大会では丹後の絹織物の素材を活かしたブランド「シヤンクール」事業の取り組みを発表した。特に、「シヤンクール」は事業化への立ち上げに関わった一人でもあり、思い入れは強く、近畿大会同様、全国の舞台でもこれを題材に主張発表する。

「生まれ育つたこのまちを全国の人に知ってもらいたい」。そのための手段が、勝って全国の舞台に進むことだったのだ。もう勝つことは目的ではない。その熱い思い、必ずや杜の都で届くはずだ。



↑主張発表の前に行う応援の練習をする野田川町商工会の青年部員。当日は17人の部員が会場に駆けつけ、堀尾さんを、また大会を盛り上げる

決算

特集◎平成18年度決算報告

平成18年度決算がまとまり、9月定例会で承認されましたので、主に普通会計決算についてそのあらましをお知らせします。

今回

の平成18年度決算は、与謝野町が誕生し、一年間を通じた初めての決算となります。

普通会計の決算収支は、繰越のため翌年度に繰り越さなければならぬ一般財源を除いた実質収支が前年度より一億五千七百二十九千円もの増となりました。合併により議員・特別職・各種委員の減少や合併に関連した経費の減などによるものが大きな要因です。

十七年度決算では、合併経費などにより財政調整基金から多額の取り崩しを余儀なくされましたが、十八年度は八千万円積み立てることができました。

歳入

から財政状況を見てみると、平成十八年度普通会計歳入決算額（町に入ったお金）は、百八億三千万五千円となりました。内訳は、自主財源が27・6％と非常に弱い財政基盤となっています。

自主財源のうち、諸収入は一億六千五百四十四万九千円の減となりました。これは、商工業者融資貸付金収入の減や、十七年度に市町村交通災害共済組合の解散分配金収入があったことなどによるものです。

また、使用料・手数料は、下水道の普及により、し尿汲み取り手数料が二千一百七千円減額になったことにより、1・4％の減となりました。

繰入金は、九億九千八十八万三千円もの減となりました。これは、前年度、財政調整基金を八億四千三百七十七万二千円取り崩したことなどによるものです。

依存財源の国庫支出金・府支出金が減額となったのは、災害復旧事業費補助金の減額などが主な要因です。

歳入からみる財政状況（普通会計）

区分	平成18年度（構成比）		平成17年度（構成比）		増減率	備考	
自主財源	町税	1,735,315千円	16.1%	1,707,710千円	13.9%	1.6%	町民税、固定資産税、軽自動車税など
	諸収入	563,015千円	5.2%	728,464千円	5.9%	△22.7%	給食費、自治宝くじ助成金、クアハウス等物品売上代など
	使用料・手数料	524,277千円	4.9%	531,975千円	4.3%	△1.4%	保育料、町営住宅使用料、し尿汲み取り手数料など
	繰越金	95,146千円	0.9%	147,766千円	1.2%	△35.6%	前年度からの繰越金
	繰入金	27,727千円	0.3%	1,017,910千円	8.3%	△97.3%	減債基金など各種基金からの取り崩し
	その他※1	32,161千円	0.3%	84,888千円	0.7%	△62.1%	土地等売払い収入、寄附金など
	計	2,977,641千円	27.6%	4,218,713千円	34.3%	△29.4%	
依存財源	地方交付税	4,659,044千円	43.1%	4,631,166千円	37.7%	0.6%	
	地方債	1,238,400千円	11.5%	1,339,200千円	10.9%	△7.5%	事業をするための借金や国の財源不足を補てんするための借入
	国庫支出金	627,083千円	5.8%	727,512千円	5.9%	△13.8%	合併市町村補助金、道路改良事業費補助金など
	府支出金	623,865千円	5.8%	769,162千円	6.3%	△18.9%	児童手当府負担金、京都府知事選挙委託金、未未づくり交付金など
	その他※2	677,042千円	6.3%	601,356千円	4.9%	12.6%	
計	7,825,434千円	72.4%	8,068,396千円	65.7%	△3.0%		
歳入合計	10,803,075千円	100.0%	12,287,109千円	100.0%	△12.1%		

※1 財産収入、分担金および負担金、寄附金

※2 地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、交通安全対策特別交付金、地方特例交付金

会計別 歳入歳出の状況

普通会計	歳入	歳出	差引収支	翌年度に繰越すべき財源	実質収支
平成18年度	108億307万5千円	105億9,815万円	2億492万5千円	2,800万8千円	1億7,691万7千円
平成17年度	122億8,710万9千円	122億4,601万9千円	1億4,109万円	1億1,590万2千円	2,518万8千円

※普通会計とは、一般会計、土地取得特別会計、石田土地区画整理事業特別会計を純計したものです。

普通会計以外の特別会計	歳入	歳出	差引収支	翌年度に繰越すべき財源	実質収支	
簡易水道会計	11億4,594万円	11億2,093万円	2,501万円		2,501万円	
宅地造成会計	662万円	1億5,507万円	△1億4,845万円		△1億4,845万円	
下水道会計	17億6,340万円	17億6,280万円	60万円		60万円	
農業集落排水会計	1,963万円	1,962万円	1万円		1万円	
介護保険会計	事業会計	18億4,178万円	17億9,198万円	4,980万円	298万円	4,682万円
	直診勘定	610万円	335万円	275万円		275万円
国民健康保険会計	事業会計	25億5,159万円	25億4,797万円	362万円		362万円
	直診勘定	7,347万円	6,677万円	670万円		670万円
老人保健会計	22億9,329万円	23億3,674万円	△4,345万円		△4,345万円	
財産区会計	892万円	892万円	0円		0円	

公営企業会計						
水道事業会計	収益的収支	営業収益	1億5,790万円	事業費用	1億6,725万円	(↓差し引き)
	資本的収支	資本的収入	1,442万円	資本的収入	7,464万円	△6,022万円

基金現在高

基金名	平成17年度末	平成18年度末	
財政調整基金	897,324千円	1,024,201千円	
減債基金（住宅新築等資金償還基金含む）	207,770千円	207,802千円	
特定目的基金	地域福祉振興基金	49,223千円	49,393千円
	地域振興基金	—	176,000千円
	公共施設建設整備基金	87,288千円	68,568千円
	中山間ふるさと・水と土保全基金	25,020千円	25,040千円
	産業振興基金	22,286千円	22,301千円
	ふるさと人づくり基金	139,840千円	137,358千円
	天の橋立岩滝温泉活用基金	150,000千円	150,100千円
	岩滝大名行列継承基金	12,235千円	14,235千円
	林業振興基金	5,819千円	5,823千円
	町営住宅建設基金	508千円	508千円
有線テレビ放送等施設基金	98千円	98千円	
奨学基金	4,447千円	4,448千円	
計	1,601,858千円	1,885,875千円	

人口一人あたりの基金現在高(平成18年度末)	
与謝野町	74,308円
伊根町	202,414円
宮津市	27,142円
京丹后市	70,090円

用語説明

- 財政調整基金／地方公共団体における年度間の財源の不均衡を調整するための基金。
- 減債基金／地方債の償還およびその信用の維持のために設けられている基金。
- 特定目的基金／特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立てるために設置される基金。

町税の内訳

区分	平成18年度（構成比）		平成17年度（構成比）		増減率
市町村民税	723,617千円	41.7%	649,747千円	38.1%	11.4%
固定資産税	834,105千円	48.1%	864,387千円	50.6%	△3.5%
軽自動車税	53,085千円	3.1%	51,584千円	3.0%	2.9%
市町村たばこ税	123,816千円	7.1%	122,683千円	7.2%	0.9%
都市計画税	692千円	0.0%	19,309千円	1.1%	△96.4%
合計	1,735,315千円	100.0%	1,707,710千円	100.0%	1.6%

※平成18年度の都市計画税は滞納繰越分のみです。

徴収率	平成18年度	平成17年度	平成18年度徴収率	
市町村民税	93.9%	94.1%	宮津市	94.4%
固定資産税	90.5%	90.7%	京丹后市	92.1%
軽自動車税	91.6%	92.5%	伊根町	98.4%
市町村たばこ税	100.0%	100.0%		
都市計画税	50.0%	92.9%		
合計	92.5%	92.7%		

町税

は自主財源の中心的役割となるもので、十八年度は十七億三千五百三十一万五千円となり、十七年度に比べ、二千七百六十万五千円の増額となりました。

これは、市町村民税が税制改正による定率減税の廃止などにより、七千三百八十七万円の増となったことが大きな要因です。

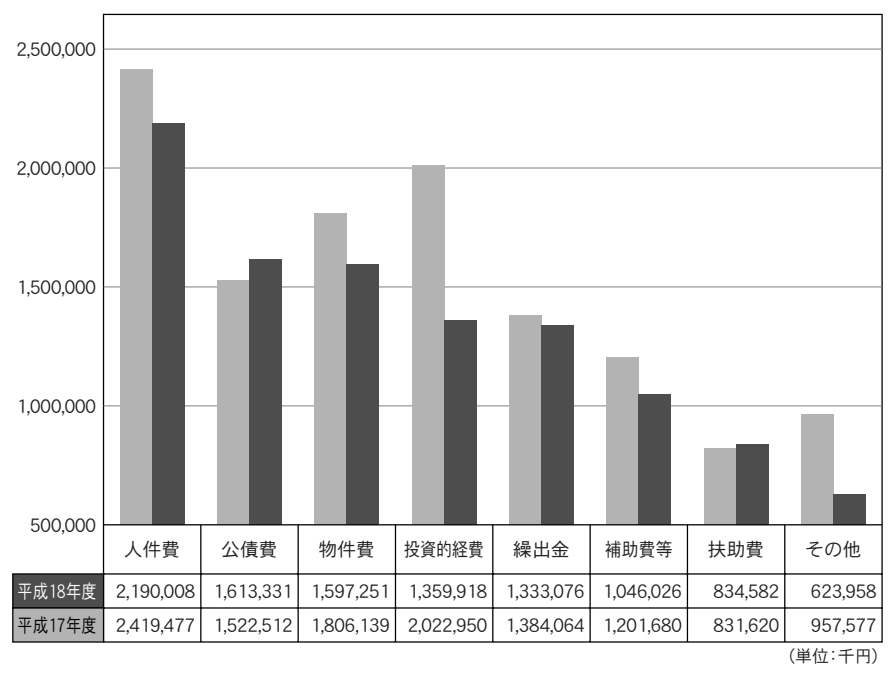
都市計画税は、旧岩滝町で徴収していましたが、合併時に凍結となったことから、滞納繰越分のみで決算となっています。徴収率は、現年度では98・2％、滞納繰越分では18・0％、全体では92・5％で、前年度より0・2ポイント下降する結果となり、近隣の市町と比べても低い徴収率となっています。

歳出

性質別に見てみると、職員の人件費や議員・各種委員の報酬などの人件費が最も多く、二十一億九千万八千円となりました。しかし、合併による議員報酬や町長等特別職給の減額で、前年度より二億二千九百四十六万九

千円減額となっています。次いで、公債費(借金の返済)、物件費となっています。投資的経費(建設事業や災害復旧事業など)は十六年度に発生した台風災害の復旧工事が十七年度で完了したことにより大幅に減額となりました。

一般会計歳出 性質別の内訳



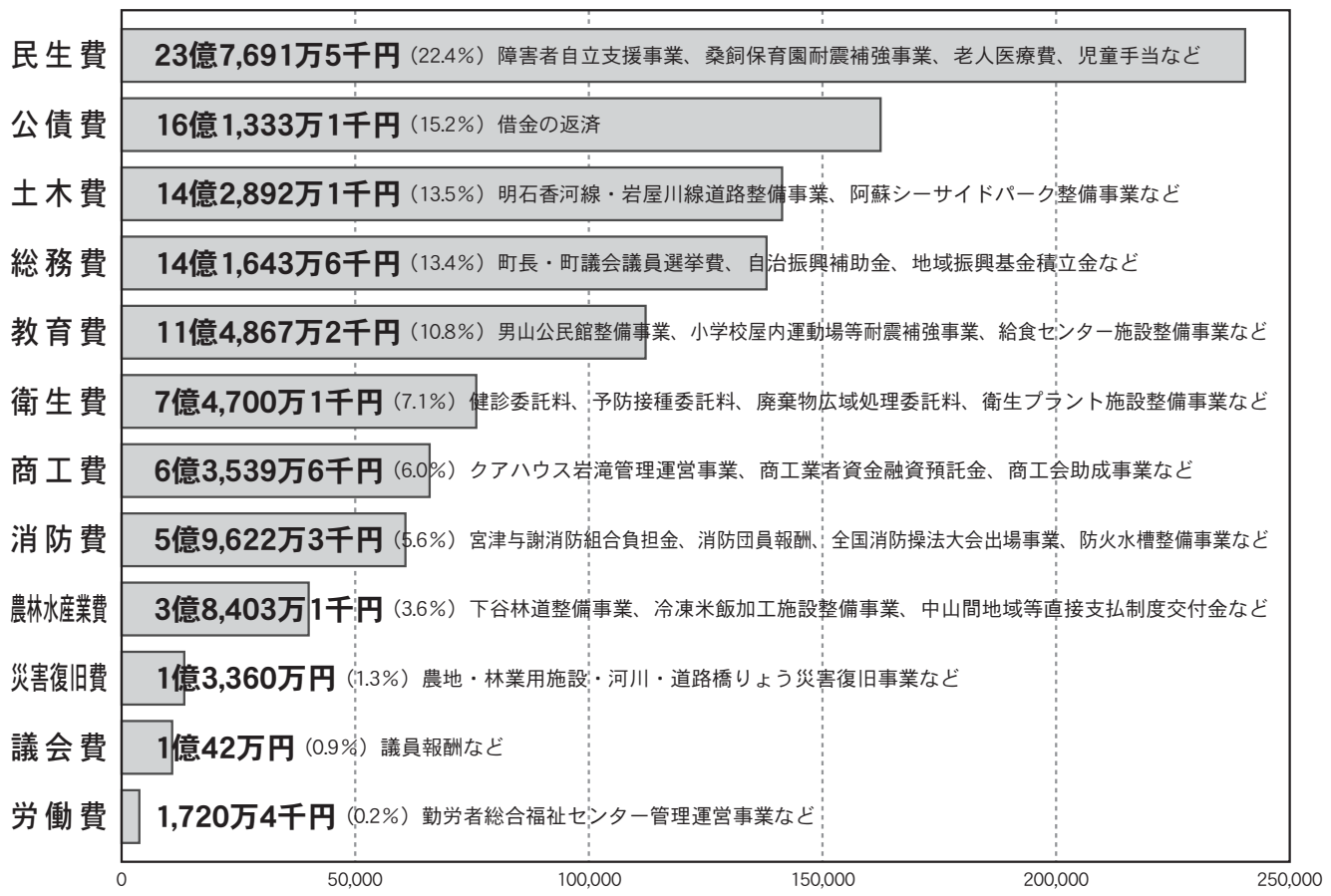
用語説明
 ●人件費/職員給与、議員報酬、各種委員報酬など ●投資的経費/建設事業費、災害復旧費など ●物件費/賃金、旅費、備品購入費、消耗品費、修繕料など ●公債費/借金の返済金、一時借入金利息 ●繰出金/下水道、簡易水道、介護保険などの特別会計への繰出金 ●補助費等/宮津与謝消防組合への負担金、各種団体への補助金など ●扶助費/児童手当、乳児医療費、老人医療費、老人ホーム入所措置費など ●その他/融資資金貸付金、基金への積立金、維持補修費など

●町が使ったお金は…
105億9,815万円
 (17年度:121億4,601万9千円)
 ●人口1人当たり…
417,595円

目的別

に見てみると、民生費がトップで、前年度より二千七百八十六万二千円減の二十三億七千六百九十一万五千円となりました。二番目に多いのは公債費(借金の返済)で前年度より九千八十一万九千円の増加となっています。次いで、土木費、総務費と続き、総務費は、合併関連経費が大幅に減額となり、前年度より七億五千九百九十九万一千円もの減額となっています。また、商工費も前年度より三億四千四百六十六万三千円もの大幅な減額となっていますが、これは合併前の旧岩滝町で、天の橋立岩滝温泉活用基金に一億五千万円を積み立てたことなどによるものです。

一般会計歳出 目的別の内訳



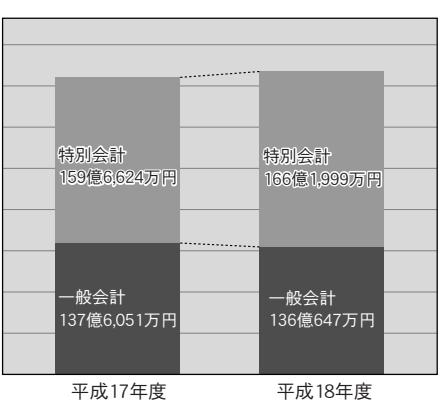
地方債

残高は平成十八年度末現在、一般会計、特別会計合わせて三百二億二千六百四十六万円で、十七年度より四億九千九百七十一万円の増額となりました。一般会計は減額となりましたが、下水道、簡易水道の整備により、特別会計は増加しています。

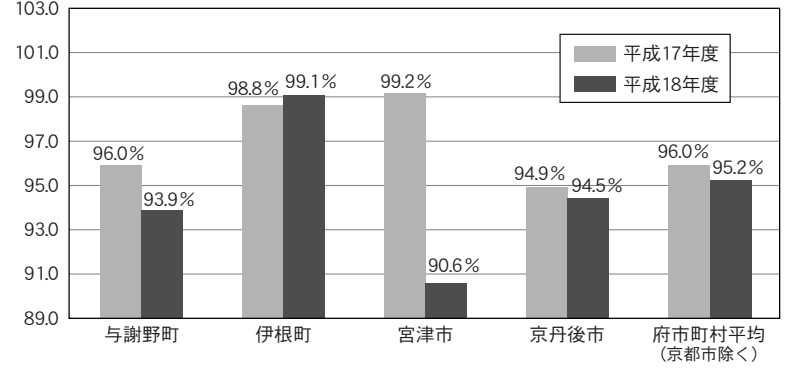
住民一人当たりに換算すると、一般会計では、五十三万六千三百一十一円、特別会計も含めると百十九万三千円となります。起債制限比率、実質公債費比率は、低いほうが健全な財政運営と言えますが、どちらも前年度より悪化しています。下水道や簡易水道の整備は今後も行っていかねければならないため、比率が上昇することが予測されます。町債の発行を計画的に行うなど、全体の動向を見極めた財政運営を行う必要があります。

与謝野町	536,131円
伊根町	1,338,802円
宮津市	858,318円
京丹後市	692,806円

地方債残高の内訳と指標



近隣市町の経常収支比率



経常収支比率は、財政力性を見る指標です。前年度より二・一ポイント改善され、九三・九となりました。これは、人件費が減ったことなど合併による効果と言えます。しかしながら、かなり硬化化した財政状況にはかわりなく、今後もますます厳しい財政状況となるのが予想されますので、さらなる経常経費の節減を徹底し、効率的・効果的な財政運営に努めます。

用語説明
 ●起債制限比率/地方債残高の標準財政規模に対する割合。
 ●実質公債費比率/公債費の他に特別会計繰出金のうち公債費分や債務負担などを含めたものの標準財政規模に対する割合。18%を超えると地方債の発行に知事の許可が必要となり、25%を超えると制限される。
 ●経常収支比率/町税や普通交付税などの経常的な一般財源の中に人件費や公債費など経常的に支出される経費が占める割合。

与謝野町	11.7%	12.0%
伊根町	13.0%	13.4%
宮津市	16.3%	16.0%
京丹後市	13.3%	14.0%
市町村計(京都市除く)	11.5%	11.7%

与謝野町	15.9%	16.4%
伊根町	15.2%	16.7%
宮津市	18.7%	19.9%
京丹後市	16.8%	17.9%
市町村計(京都市除く)	16.1%	16.2%

※17年度は、その時点での数値であり、修正後、与謝野町は16.0%となっています。

●まちの未来に対する「意見をお聞かせください。」



与謝野町総合計画審議会では、与謝野町の誕生を機に、まちづくりの指針となる「与謝野町総合計画」の策定を進めています。このほど総合計画（案）がまとまりましたので、その概要をお知らせし、計画策定の参考とさせていただきますために、皆さんからのご意見を募集しています。

総合計画の目的

平成十八年三月一日、与謝野町が誕生しました。この日から「与謝野町生まれ」となる子どもたちが、将来、本町を誇りとできるようなまちづくりをめざして、新たな歩みが始まりました。このため、住民と行政の協働によるまちづくりの指針として、「新町まちづくり計画」を基本としながら、「与謝野町総合計

画」を策定しています。人口減少社会の到来、地方分権の推進とパートナーシップの構築、構造改革の推進など新たな対応が求められる社会情勢のもとで、総合計画の役割も、かつての行政の施策事業中心から、住民と行政の協働によってめざす未来図へと変わっていく必要があります。

計画策定の経過

また、旧三町の豊かな地域文化を引き継ぎ、一体化した本町では、地域福祉や生涯学習、環境保全など多方面で新しい芽や若い木が育ちつつあります。これらの若い力がフルに発揮され、その輪が広がり、さらに住みよ

いまちになるためには、住民と行政の協働によるまちづくりが実践されていく必要があります。それらを踏まえ、与謝野町総合計画は、「みんなの計画」「ひろがる計画」「できる計画」を

総合計画の策定では、できるかぎり多くの住民の方々の参加を得るため、まちづくりアンケートや各種団体懇談会の実施、加悦谷高校生徒と町長の対話などを行ってきました。また、平成十八年十一月に発足した総合計画審議会では、これまで四回にわたる熱心な審議をいただき、また、三つの部会に分かれて職員ワーキングメンバーとの合同会議をそれぞれ十回前後開催していただきました。そして、行政が行う施策だけでなく、住民や地域、企業・事業者ができることも書き込まれました。まさに「みんなの計画」

総合計画の概要

●計画の期間

総合計画は、基本構想、基本計画および実施計画により構成します。基本構想は、与謝野町の十年後の将来を展望し、住民と行政の協働によるまちづくりの基本的な理念とまちの将来像を明らかにし、その実現のための基本目標を示します。

基本計画では、基本構想で示すまちづくりの基本方針に基づき、各分野で取り組む施策方針を体系的に示します。また、実施計画は、基本計画に定められた施策を実現するための具体的な事業を定める事となります。

計画の構成と期間のイメージ



水・緑・空
笑顔がやく
ふれあいのまち

●まちの将来像

「水・緑・空 笑顔がやく
ふれあいのまち」
美しい水と緑、そして澄んだ空は、私たちの暮らしに恵みややすらぎをもたらす地域共有の財産です。この自然との調和を大切にしながら、住みよい地域づくりへの参画と協働を通じて、子どもから高齢者までそれぞれの夢と幸せに向かって、一人ひとりの笑顔がやく、ふれあいや豊かなまちをめざします。

●まちづくりの基本目標

①安心と生きがいのある福祉のまちづくり
子どもから高齢者まで、いきいきと社会参加できる「安心と生きがいのある福祉のまちづくり」をめざし、住民・事業者・行政の協働によって、子育て支援、高齢者や障害者の自立支援、健康づくりや医療体制の充実、地域福祉の推進、男女共同参画の推進に取り組みます。

■子育てするならこのまちで（子育て支援ネットワークの充実）
■いきいき、安心の笑顔が輝く（高齢者・障害者福祉ネットワークの確立）
■自らつくる元気なからだ（健康づくりと地域医療体制の充実）

■互いに安心を支え合う地域（地域福祉の推進）
■男女が共に参画するまち（男女共同参画社会の構築）

●活発な審議が重ねられています



生涯学習センター知遊館で開催された第3回審議会の様子。審議会の委員は、様々な分野から集まった住民で構成されています。

●総合計画審議会委員（敬称略）

地域振興部会（10人）

- 大江昇（区長） 部会長
- 塩見晋（公募） 副部会長
- 禰理隆夫（区長）
- 武田民子（女性代表）
- 西原新介（商工会）
- 西原俊朗（区推薦）
- 新田榮一（区長） 会長
- 山城甲太郎（公募）
- 山本徹（青年代表）
- 小長谷啓介（消防委員）

教育・福祉・環境部会（10人）

- 大槻安幸（社会福祉協議会） 部会長
- 今藤美（教育分野） 副部会長
- 蒲田充弘（NPO）
- 小池厚雄（体育協会）
- 小池忠四郎（保健分野）
- 須田芳一（老人代表）
- 新田雪江（区推薦）
- 半海昭彦（区推薦）
- 三井健史（NPO）
- 安岡孝子（文化協会）

産業・建設部会（10人）

- 青木順一（観光協会） 部会長
- 足立経彦（商工会） 副部会長
- 井上晃（農業分野）
- 糸井宏輔（公募）
- 芋田薫（商工会）
- 黄前友次（区推薦）
- 岸部敬（区推薦）
- 小西照美（区推薦） 副会長
- 白須秀幸（農業協同組合）
- 安田典由（公募）



② 伝統を活かし未来にチャレンジする産業づくり

これまで培われた農林業、商工業、織物業、観光の基盤をもとに、「伝統を活かし未来にチャレンジする産業づくり」をめざし、各産業の振興を図るとともに、各産業が連携して新たな活路を見出し、活力が循環するまちづくりを進めます。

■ 工夫して夢を広げる元気な農業（農業の振興）

■ 百年先の暮らしへつなぐ林業（林業の振興）

■ 地域に貢献する元気な商工業（商工業の振興）

■ 織物の総合産地へ製造から販売まで（織物業の振興）

■ 地域資源に磨きをかけた観光交流（観光交流の育成）

■ 産業振興による雇用の拡大（新たな産業おこしへの支援と雇用の確保）

③ 自然と安全を守るまちの基盤づくり

住民の暮らしを支える「自然と安全を守るまちの基盤づくり」として、美しい自然環境の保全と循環型社会へ向けた取り組みによって、水清く、緑豊かで、空気の澄んだ良好な環境を守るとともに、治山治水や防災体制の強化によって災害に強いまちをめざします。

■ 美しい山、川、海、空（自然環境の保全）

■ ごみは資源にリサイクル（循環型社会の構築）

■ 災害に強い安心・安全なまち（治山治水と防災体制の強化）

④ 快適でやすらぎのある生活環境づくり

住民の定住を支える「快適でやすらぎのある生活環境づくり」をめざして、本町の特性を活かした都市計画の推進

うるおいのある暮らしの環境整備、交通ネットワークや情報基盤、上下水道等の整備、安心・安全な地域づくりに取り組みます。

■ 調和のとれた魅力あるまち（新しい都市計画の推進）

■ うるおいのある暮らし環境（やすらぎ空間の整備）

■ 行きたいときに行きたいところへ（交通ネットワークの整備）

■ みんなをつなぐ情報ネットワーク（地域情報化の推進）

■ 安全・豊富でおいしい水（上下水道等の整備）

■ 健康で、快適な生活環境（下水道等の整備）

■ 安心・安全に暮らせる地域（安全な地域づくりの推進）

⑤ 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり

将来のまちを担う「明日の人材を育てる教育文化のまちづくり」をめざして、地域と

共に育てる学校づくりや青少年の健全育成、生涯学習・生涯スポーツの振興や国際交流の推進に取り組み、誇らしいふるさとの文化を育てていきます。また、すべてのまちづくりに関わることをして、一人ひとりの人権を大切にするまちづくりを進めます。

■ 地域と共に育てる楽しい学校（学校教育の充実）

■ 生涯にわたって成長する喜び（生涯学習・生涯スポーツの振興）

■ 遊びは心の栄養源（青少年の健全育成）

■ 地域から世界、世界から地域を考える（国際交流の推進）

■ 誇らしいふるさとの文化を守り、育てる（地域文化の振興）

■ 一人ひとりを大切に（人権の尊重）

総合計画案の基本構想、基本計画について、皆さんから寄せられたご意見を踏まえ、住民と行政の協働により「みんなの計画」「ひろがる計画」「できる計画」となるようなまちづくりの未来図を描きます。

また、具体的な実施計画を今年度中にまとめ、「与謝野町総合計画」を策定します。

与謝野町の未来を決める大切な計画です。皆さんからのご意見をお待ちしています。

● 計画案の公表と意見の募集について

● 計画案の公表

計画案を公表する期間は、平成19年11月22日(木)までです。ただし、土曜日、日曜日は除きます。公表時間は、午前8時30分～午後5時30分です。

計画案は、各庁舎の地域振興課窓口で公表していますので、閲覧いただけます。また、町のホームページ (<http://www.town.yosano.lg.jp/>)にも掲載しています。

● 意見の募集

住所・氏名・電話番号・ご意見（ご意見やご提案の対象となる部分分かるように、章や節、ページ数も合わせて記入してください）を明記して郵送、ファックス、電子メール（添付ファイルによる提出はご遠慮ください）により総合計画審議会事務局（企画財政課内）宛て、または直接各地域振興課へご持参ください。

意見の取り扱いは、後日とりまとめのうえ、総合計画審議会を通じ、最終的な与謝野町総合計画検討資料とさせていただきます。なお、ご意見（ご提案）に対する個別回答は行いません。あわせてご意見（ご提案）は返却しませんのでご了承ください。

〈募集期限〉
平成19年11月25日(日)【必着】

〈問い合わせ先〉

〒629-2292

与謝野町字岩滝1798番地1

総合計画審議会事務局（企画財政課内）

・電話 0772-46-3084

・ファクス 0772-46-4630

・eメール kikakuzaisei@town.yosano.lg.jp

⑥ 協働で進めるまちづくり

「協働で進めるまちづくり」のため、まず行政自身が徹底的な行政改革を推進しながら、情報開示と対話の原則を貫き、住民の信頼に込めます。

そして地域コミュニティの振興を図り元気な地域をつくることにも、まちづくりを担う多様な団体・事業者等の育成に努め、自助・共助・商助・公助の協働を築いていきます。

■ 効率的な行政運営（徹底的

な行政改革の推進）

■ みんなでつくる元気な地域（地域コミュニティの振興）

■ 住民・地域・事業者・行政のパートナーシップ（協働のまちづくりの仕組みづくり）

⑦ 重点プロジェクトの推進

各分野の施策の中から、与謝野町の重要課題で、選択と集中の考え方で自助・共助・商助・公助の協働により重点的に取り組むべき施策を、次

のとおり集約します。

■ 創ろう、つなごう、循環型の地域経済

■ 守ろう、支え合おう、みんなの安心・安全

■ 輝こう、輝かせよう、子どもたちの瞳

■ 進めよう、参画しよう、分権型の自治体改革

「水緑空笑顔がやく
ふれあいのまち」をめざして

今後は、今回お知らせした総



国体で大活躍! 加悦谷高生

●重量挙げ少年男子 関野君が全国大会3冠の快挙 大村君、前田君も大健闘

加悦谷高校ウエイトリフティング部から3選手が、第62回国民体育大会「秋田わか杉国体」に出場しました。

77kg級には関野祐太君(3年)が出場し、スナッチ、ジャーク、トータルとも優勝。

85kg級に出場の前田拓哉君(同)はジャークで優勝、105kg級に出場の前田拓哉君(同)はスナッチで3位の成績を収めました。

関野君は春の選抜、インターハイ、国体と全国大会3冠の快挙を達成。卒業後は競技から離れる予定で「最高の締めくくりとなった」と喜びの表情を見せてくれました。

大村君、前田君は優勝を狙っていただけに悔しい結果となりましたが、「この経験を進学後も続ける競技生活に活かしたい」と力強く話してくれました。



↑左から大村祐之君、前田拓哉君、関野祐太君

●少年女子共通やり投げ 本田さんが自己ベストで初の入賞

陸上競技では、少年女子共通やり投げに出場した本田菜衣さん(3年)が、自己ベストの45m05を投げ、自身全国大会初の入賞となる6位の成績を収めました。

インターハイでは決勝に進むも入賞を逃し、国体では「絶対に入賞する」という強い気持ちで臨み、「自己ベストで入賞でき、



最高でした」と喜びの声を聞かせてくれました。

今後は進学して競技を続けることで、さらなる活躍が期待されます。

元気に育ってね 岩屋小キジの放鳥

岩屋小学校では、五月に児童の祖父が見つけた七つのキジの卵を、小学校にあった孵卵機で孵化させることに成功し、福知山市の動物園や京都府丹後広域振興局の指導を受けながら、子どもたちが母鳥の代わりをして育てていました。

残念ながら、三羽は死んでしまいましたが、子どもたちの愛情で育てた成果もあって、キジは人になつきにくい鳥にも関わらず、手で餌を与える



→一斉に飛び立つ四羽のキジ。

今年も盛大に 与謝野町敬老会

九月二十九日は加悦地域、十月六日は野田川地域、十月七日は岩滝地域と、各地域で「与謝野町敬老会」が今年も盛大に開催されました。

今年度の敬老会対象者は四千六百五十一人(男:千七百三十九人・女:二千九百一十二人)で、三会場合わせて千人を超える方が参加しました。



→町長から米寿のお祝いを手渡しました(写真は野田川会場)

秋の与謝野路を激走 よさの大江山登山マラソン



↑登山道を駆け抜ける平井勝選手(四辻)。与謝野町から出場したランナーで最上位(第1部3位)の成績を収めました

「第二回よさの大江山登山マラソン大会」が九月三十日、大江山運動公園をスタート、ゴールに開催され、二三・五キ、一〇・〇キ、ジョギング(三・五キ)の各コースに四百九十七人のランナーが

この日は、朝から雨が降る最悪のコンディション。この日は、朝から雨が降る最悪のコンディション。この日は、朝から雨が降る最悪のコンディション。



←接戦の末、三人並んでゴール

各部門優勝者(敬称略)	
1部 [23.5km/男子40歳以上]	出口 光 (藩乱F.C)
2部 [23.5km/男子40歳以上]	石塚 正史
3部 [23.5km/男子40歳以上]	長谷川 梨花
4部 [23.5km/女子40歳以上]	岡田 智子
5部 [10.0km/男子39歳以下]	中村 太一 (福知山自衛隊)
6部 [10.0km/男子40歳以上]	南藤 宏和 (京丹波町民会)
7部 [10.0km/女子39歳以下]	藤原 ひとみ (江陽中学校)
8部 [10.0km/女子40歳以上]	曾根 千鶴

奏でる素敵なメロディー



↑美しい歌声を響かせた与謝野町児童合唱団

十月二十日、「知遊館ミュージックフェスタ2007」が同あじさいホールで開催されました。出演は、岩滝幼稚園の子どもたちをはじめ、加悦谷高校吹奏楽部、混声合唱団、シニアコーラスなど、町内の音楽愛好者サークル十一団体が、日頃の練習の成果を発表しました。

スポーツで楽しい1日を過ごしました



↑「卓球バレー」は京都発祥の障害者スポーツです

スポーツの楽しさを広め、スポーツ交流の輪を拡大することを目的に「スポーツフェスタよさの2007」が十月八日、大江山運動公園で開催されました。



↑「すごくきれいで、目を惹く」と好評でした

きもの姿で町民の皆さんをお出迎え

丹後地域の行政機関、商工団体等で組織する「丹後きものNET」では、和装のすばらしさを広くPRし、きもの伝統と織物業、観光の振興を図る目的で十月一日から十一月十五日までを「きものを楽しむ月間」、十月十九日から二十一日を「きものを楽しむ日」として取り組んでいます。



民生児童委員だより

民生委員・児童委員は身近な相談相手です

与謝野町民生児童委員協議会では、「民生児童委員だより」を通して民生委員・児童委員の活動を紹介します（不定期）。

「ふれあい事業」で得たもの

私 たち与謝野町民生児童委員協議会は、8月4日・5日と2日間にわたり、加悦双峰公園での京都府民児協の「父子ふれあいキャンプ」事業に協力しました。

まず、2日目の日程に入っている大江山ハイキングの千丈ヶ嶽まで下見に。短時間ではとても無理なことが判明し、後日、双峰の展望台までの草刈りを決行しました。道案内板を立てたり、献立を考え新鮮な野菜を調達したり、買い物に走ったりと、段取りは完了。

初日は好天に恵まれ、いよいよ「ふれあい事業」



←百人分以上のハイパーキユーの準備に忙しい民生児童委員

のはじまりです。副町長にご出席いただき、開会式。それが終わると、早速昼食。女性委員によるピラフとスープに舌鼓を打ち、お腹一杯になったところで、天橋立に海水浴へ。帰りには「リフレかやの里」で入浴し、夜は待望のバーベキュー。子どもたちの食欲の旺盛なことにはびっくりしました。食事が終わりがけの頃、夕立に見舞われましたが、雨は上がり、夜がふけると、待ちに待った花火です。花火のはかなさに心惹かれる姿は、大人も子どもも同じなんだと感じました。

2日目、委員も付き添ったハイキング。まちの景観に満足していただきました。昼食のカレーは、おかわりが続出しました。「おかわり」「おいしかった」「ありがとう」の一言一言が、委員にとっての最高の喜びでした。

この事業のお手伝いをしたことにより、旧3町の委員が一丸となって結束できたことは、何よりも大きな成果でした。

宝勝寺子供座禅会

与 謝野町民生児童委員協議会加悦支部が、宝勝寺座禅会のお手伝いをさせていただいてから6年になります。それまでは、和尚さんが一人で40人あまりの子供座禅会の取り組みをされていました。宝勝寺の山本元英住職から次のようなお言葉をいただきました。



←山本住職(右端)の説教の下に無心となり座禅を組んでいる子どもたち

子供坐禅会を振り返って

宝勝寺 住職 山本元英

二十有余年前に始めた坐禅会。私自身の生命あるを振り返った時、母への想い（我が生命に変えてでも育てずにはおかん。と同時に世の中に絶対迷惑を掛けず自立を促す為の厳しさ）が、私に今何が出来るか。父母や数知れない多くの人々への恩返しはと思った時、子供達の生命、それは国の宝、各々の家々の宝、その宝を磨き、鍛える事が先に生まれた人々、私にとっての仕事であると思い、やり出したのがこの子供坐禅会

でありました。

今の世の中を見ると、その大事な仕事を一番に大切にするという事より、大人達の欲望を満たす為に一生懸命血眼になっている様に思えます。

自然界の生き物は、新しい生命をこの世に送り出し、その生命を全身全霊傾注して育てる営みを淡々としております。

人間も自然の一部でしかありません。

自然に戻った働きをしようではありませんか。

私も微力ではありますが、今後も子供坐禅会を皆様の協力を戴きながら続けて参りたいと念じております。



上/絶景を見下ろして昼食をとる来場者(紅葉まつり) 右/ちりめん街道はたくさんの人にぎわいました

まちのイベントで秋の1日を満喫しました

秋晴れの空の下、町内では楽しいイベントが盛りだくさんです。十月七日には、「収穫祭」が野田川わくわくぼる前の水田で行われ、主催したビッグファーマー野田川の特別栽培米の消費者やクリーンキッズ与謝野の子どもたちが参加して、六月に自分たちで植えた稲を鎌を使って刈り取りました。



↑刈り取った稲を束ねる子どもたち(収穫祭)

同じ日に加悦のちりめん街道では「ちりめん街道まるごとミュージアム」が開催され、街道にはきもの姿の人が行き交い、ちりめん小物の販売をする「市」が軒を連ね、かつてのにぎわいを彷彿させました。

また、十月二十一日には、大内峠一字観公園で「第二十回大内峠紅葉まつり」が開催され、峠は会場に向かうたくさんの方のハイカーでにぎわい、会場では俳句展、カラオケ大会などを楽しみました。



安心・安全のまちを目指して地域安全パレード

与謝野町防犯推進協議会が主催して、全国地域安全運動（十月十一日～二十日）前の十月八日、野田川地域で「与謝野町地域安全パレード」が行われました。当日は小雨が降り続くあいにくの天候でしたが、京都府警察本部の音楽隊、カラガード隊、平安騎馬隊がパレードを先導し、防犯委員ら約百五十人が野田川庁舎周辺で地域安全に関する啓発パレードを行いました。

与謝野町防犯推進協議会が主催して、全国地域安全運動（十月十一日～二十日）前の十月八日、野田川地域で「与謝野町地域安全パレード」が行われました。



↑パレードで地域の安全を呼びかけました

交通安全に取り組んでいます

◎交通道路パトロールを実施しました
与謝野町交通安全対策委員会では八月十九日、平成十九年度の交通道路パトロールを行いました。これは、区保育所(園)、幼稚園・小学校・中学校から、日頃から交通事故の多い箇所や危険と思われる町内の道路について改善要望を出してもらい、その中から特に緊急に改善を要する箇所についてパトロールを実施するものです。



↑三河内地区の危険箇所をパトロール

役場建設課も参加し、町内の道路危険箇所十カ所をパトロールしました。終了後は、パトロール箇所について、意見交換とその対策について協議を行いました。



↑通学や通勤の時間に合わせ、交通立ち番を実施しました(写真は加悦地区)

◎交通立ち番を実施しました
九月二十一日から三十日の「秋の全国交通安全運動」に伴い、町内各所において交通立ち番を実施しました。
町交通安全対策委員、宮津交通安全協会委員、町職員が通学路や庁舎前などの街頭に立ち、交通安全を呼びかけました。

身近な食材、旬の食材を使ったレシピを紹介していますので、ご家庭でも気軽に調理していただけます。教室は保健師・栄養士の話や献立説明の後に、各班に分かれて調理開始となります。

この教室で初めて顔を合わせる方がほとんどですが、みなさんワイワイとお話を楽しんでいます。毎回、岩滝・加悦の保健センターで交互に行っています。今年度は、内臓脂肪症候群（メタボリック症候群）、肝臓病予防、口腔ケア、生活習慣病予防、骨粗しょう症予防、認知症をテーマに行ってきました。

身近な食材・旬の食材で

身近な食材、旬の食材を使ったレシピを紹介していますので、ご家庭でも気軽に調理していただけます。教室は保健師・栄養士の話や献立説明の後に、各班に分かれて調理開始となります。

栄養教室が始まっています

「食」を食べる」ということはほとんどの人が毎日欠かさず行っていることです。また、健康を維持し、毎日を元気に過ごすためには正しい食生活がポイントとなってきます。皆さんは自分の食生活について考える機会をお持ちでしょうか。

調理後はお待ちかねの食事です。自分たちの作ったものを食べながら、「おいしくできている」「今日帰ったおかずはお弁当にも使えるね」など、ここでもまた話が盛り上がります。

健康に毎日を通すために

この教室は月に一回、岩滝・加悦の保健センターで交互に行っています。今年度は、内臓脂肪症候群（メタボリック症候群）、肝臓病予防、口腔ケア、生活習慣病予防、骨粗しょう症予防、認知症をテーマに行ってきました。

簡単に、安価な材料ででき、家庭料理のレパートリーにすぐ取り込める料理ばかりなので、本当に有意義な教室に参加させていただき嬉しく思っています。また、身近な保健講習、日頃気になってはいるものの、改めてなかなか考える機会がないので、とてもいい勉強会ありがとうございます。（参加者の声より）



10月の教室で好評だったレシピを紹介します「さつま芋のチーズ羊羹」(4人分)

- 1人分の栄養量
エネルギー135kcal、たんぱく質3.1g、脂質1.3g
- 材料
さつま芋150g、スキムミルク16g、水100cc、粉寒天2g、砂糖60g、スライスチーズ2枚
- 作り方
① さつま芋は皮をむき、2cmくらいの輪切りにして、やわらかくなるまでゆでる。
② 水を切り、ボウルに移して粗くつぶす。
③ 鍋にスキムミルクと粉寒天を入れてよく混ぜ、水を加えて火にかける。かき混ぜながら、寒天がとけたら砂糖を加え軽く沸騰させる。
④ スライスチーズを1口大にちぎって③に加えてとがす。
⑤ 粗くつぶしたさつま芋に④を加えて混ぜ、型に流して冷やし固める。

秋の全国火災予防運動実施中 11月9日(金)～11月15日(木)

11月9日(金)～11月15日(木)まで全国一斉に秋の全国火災予防運動が実施されています。秋も深まり火が使われる機会が多くなってきました。私たち一人ひとりが火の取り扱いには十分注意し、火災予防に努めましょう。

火災予防運動週間の活動 消防団ではこんな取り組みをしています

防火パレード

消防車5～6台を1班とし、2班集体で与謝野町全域において防火パレードを実施しています。



防火教室

手作りの紙芝居や、防火クイズ、防火の替え歌などで、保育園や幼稚園の子どもたちを対象に防火教室を開催しています。

防火訪問・消防車両広報

消防団員が各家庭を訪問して防火チラシを配布したり、夜間、消防車両による防火広報、夜間警戒を実施しています。そのほかにも防災行政無線や音声告知放送による広報なども実施しています。



住宅防火 いのちを守る7つのポイント

3つの習慣

- 寝たばこは、絶対にやめる。
- ストープは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- 寝具や衣類からの火災を防ぐために、防災製品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器などを備える。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。



平成19年度全国統一防火標語「火は見てる あなたが離れる その時を」

この間、お月見の団子作りであちこちの保育園や幼稚園へ行ってきました。日本では月に餅つきのウサギがいるということを知っていましたが、どうしてウサギが知りませんでした。

それで、私は月ウサギ伝説を初めて聞きました。昔々あるところに、ウサギ、キツネ、サルがいました。ある時、3匹は食べ物を求める老人に出会って、老人のために、食べ物を探しに行きました。サルは木の実を見つけ、キツネは魚をとってきましたが、ウサギは何も見つけられませんでした。とても悩んだウサギは自分の体を老人にあげるため、「私を食べてください」と言ったとたんに火の中に飛びこみました。実はその老人は神様でした。人間のように姿を変えて3匹の優しさを試そうとしました。ウサギの行いに感動した神様は、月の中にウサギをよみがえらせた。これがきっかけで、お月様の中にウサギが見えるわけです。



↑市場保育所での月見団子作りの様子

この話を聞いてからお月様を見るとウサギがかわいそうに見えました。「一所懸命探したのに、なんで飛び込んだのか。その老人の食べ物は、サルとキツネのつけてきたもので十分ではないですか。命を犠牲にする必要はないだろう」と考えて寝られなくなってきました。

日本と違って、カナダにはお月見の習慣がありません。ですから、「カナダ人はお月様を見たらか何が見えますか」と聞かれたら、なかなか答えにくい。なぜなら、カナ

ダは多文化社会だから、それぞれの文化、伝統によって、いろいろな答えがあるからです。女の子の顔、男の子の顔、ほうきにまたがる魔女、カエル、アメリカヤギウ、男の子の姿などが見えるとよく言われています。

私が見えるものは男の子の顔です。なぜなら、幼い時に読んでもらったお月様の絵本は可愛い顔がついていたからです。この顔について調べると、日本のウサギの話のような伝説があります。月の顔はカインさんの顔です。キリスト教とユダヤ教の伝説によるカインさんとは、アダムとイブという最初の人間夫婦の二人兄弟の兄です。弟はアベルさんです。神様がカインさんとアベルさんに食べ物を捧げてもらいましたが、神様はアベルさんに捧げてもらうものの方が好きでした。カインさんは嫉妬して自分の弟を殺しました。神様はその罰として、カインさんを地球にずっと歩き続けさせることにしました。今、ずっと地球を歩きつづけるものは私たちの月です。その月がカインさんと言われている。

この話の本当の意味を知ると可愛い顔のイメージが怖い顔のイメージに変わり、満月の夜は寝ている時に「怖い顔に見られているな…」と思って眠れなくなってしまいました。

日本だけではなくて韓国、中国などの仏教に影響された国ではウサギというイメージが見えると言われています。カナダでは月に対して皆がそれぞれの解釈があります。このことは、日本と西洋の違いの一つです。

図書館人気本ベスト5

与謝野町立図書館 (知遊館 1階) ☎ 46-2451
加悦分室 (加悦地域公民館 2階) ☎ 43-0376
野田川分室 (町中央公民館 1階) ☎ 43-0087

● 図書館人気本ベスト5

図書館では4月1日から9月末まで、延べ57,547冊の本が貸し出されました。この期間に、数多く借りられた本を「人気本ベスト5」としてご紹介します。



- | | | | |
|---|---|---|---|
| <p>1位 『ひとり日和』
青山七恵/著 河出書房新社</p> <p>2位 『還らざる道』
内田康夫/著 祥伝社</p> <p>3位 『光とともに…10』
戸部けいこ/著 秋田書店</p> <p>4位 『名もなき毒』
宮部みゆき/著 幻冬舎</p> <p>4位 『赤い指』
東野圭吾/著 講談社</p> <p>4位 『東京タワー』
リリー・フランキー/著 扶桑社</p> | <p>1位 『かいけつゾロリの大金持ち』
原ゆたか/作・絵 ポプラ社</p> <p>2位 『かいけつゾロリのにんじゃ大さくせん』
原ゆたか/作・絵 ポプラ社</p> <p>3位 『かいけつゾロリのあいつ! ラーメンたいけつ』
原ゆたか/作・絵 ポプラ社</p> <p>4位 『かいけつゾロリちきゅうさいごのひ』
原ゆたか/作・絵 ポプラ社</p> <p>5位 『かいけつゾロリつかまる!』
原ゆたか/作・絵 ポプラ社</p> | <p>1位 『ゲド戦記』
アシュラ K.ル=グウィン/原作 徳間書店</p> <p>2位 『おじいちゃんのごらくごらく』
長谷川義史/絵 西本鶏介/作 鈴木出版</p> <p>3位 『へんしんトンネル』
あきやまだし/作・絵 金の星社</p> <p>3位 『へんしんオバケ』
あきやまだし/作・絵 金の星社</p> <p>5位 『ちよこちよあそび』
きむらゆういち/作 偕成社</p> <p>5位 『どろんこそうべえ』
たじまゆきひこ/作 童心社</p> | <p>1位 『オレンジページ』
オレンジページ</p> <p>2位 『こどものとも』
福音館書店</p> <p>3位 『NHKおしゃれ工房』
日本放送出版協会</p> <p>4位 『主婦の友』
主婦の友社</p> <p>5位 『婦人公論』
中央公論新社</p> |
|---|---|---|---|

● 今月のオススメの一冊



『ピーターラビット』の生みの親
ミス・ポターの夢をきらめない人生
伝農浩子/著 徳間書店

「ピーターラビット」の著者、ミス・ポターは、封建的な時代の中で女性としての自立をめざし、また、美しい湖水地方の自然を守るため自然保護活動に積極的に関わるなど現代においても、多くの人に感動と共感呼び起こします。



『としょかんライオン』
ミシェル・ドセン/作 ケビン・ホクス/絵
岩崎書店

図書館にライオンがやってきて、人々は大騒ぎ。でも、館長は「静かにお行儀よくできるのなら来ていいですよ」とライオンに言います。ライオンは毎日図書館へやってきて、みんなと仲良しに。ところがそんなある日、ある事件が起きます…

時の贈り物 [第19回]

まちの文化財

◎ 雲岩寺の宝篋印塔

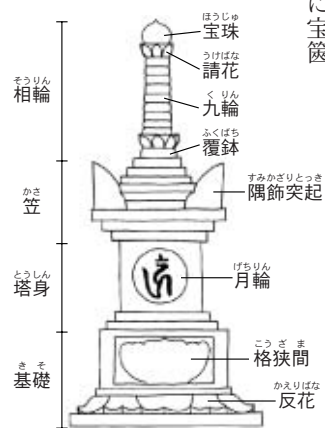
— 京都府内最大級の宝篋印塔 —



↑岩屋の雲岩公園にある雲岩寺の宝篋印塔

雲岩寺(当初は雲巖寺と記す)は、鎌倉時代から室町時代に繁栄した寺で、その痕跡として、現在でも建物跡の礎石群や仏像、石造物を見ることができます。
中でも、頂上付近にある宝篋印塔は高さが三メートルあり、大変目をひきます。
宝篋印塔とは、塔身に宝篋印陀羅尼経を納めたことからその名が付けられています。供養や墓碑として立てられました。総高は三メートルあり、京都十六ヶ所あり、京都市

図説◎宝篋印塔



- 与謝野町役場 ☎46-3001(代表)
- 岩滝地域振興課 ☎46-3002
- 総務課 ☎46-3003
- 総務課(消防安全係) ☎46-3004
- 企画財政課 ☎46-3084
- 企画財政課(情報システム係) ☎46-3085
- 建設課 ☎46-3267
- 商工観光課 ☎46-3269
- 会計室 ☎46-3007
- 野田川庁舎 ☎44-2081(代表)
- 野田川地域振興課 ☎44-2082
- 住民環境課 ☎44-2083
- 税務課 ☎44-2084
- 水道課 ☎44-2085
- 下水道課 ☎44-2086
- 加悦庁舎 ☎43-1511(代表)
- 加悦地域振興課 ☎43-1512
- 福祉課 ☎43-1513
- 保健課 ☎43-1514
- 農林課 ☎43-2191
- 議会事務局 ☎43-0215
- 教育委員会 教育総務課 ☎43-2192
- 教育委員会 教育推進課 ☎43-2193

野田川河口に野鳥の保護啓発看板を設置

毎年この時期に阿蘇海へ飛来し、冬の訪れを知らせてくれるコハクチョウ。しかし最近では、野田川河口付近での魚釣りの影響で、コハクチョウが釣り竿に警戒し、休息する間もなく飛び立っていくとのことで、野鳥の会から「野鳥の飛来地であることの啓発や魚釣りの自粛を促す看板の設置をしてほしい」と相談があり、与謝野町が京都府の協力を得て、野田川河口3ヵ所に保護看板を設置しました。

冬の阿蘇海には、ロシアのシベリア地方などからコハクチョウやスズガモ、マガモなどの多くの水鳥がやってきます。特に、コハクチョウは京都府準絶滅危惧種で、北極海沿岸地域から数千キロメートルもの距離をはるばるやってきます。

阿蘇海のカモ類の確認数は最大で2,600羽(平成19年1月現在)を超え、コハクチョウも61羽(平成18年2月現在)と京都府最大の水鳥の飛来地です。

野鳥たちの数少ない飛来地の一つの保護と環境保全に皆さんのご理解とご協力をお願いします。



「天橋立周辺景観まちづくり計画(中間案)」パブリックコメント募集

天橋立周辺景観まちづくり計画(中間案)に対する皆さんのご意見やご提案(パブリックコメント)を募集します。

- 募集期間 11月5日(月)～12月4日(火)
- 資料について 資料は、京都府、宮津市、与謝野町の各機関で入手できます。また、京都府都市計画課ホームページ (<http://www.pref.kyoto.jp/toshi/keikan.html>)でもご覧いただけます。
- 問い合わせ先 建設課(☎46-3267)、または京都府丹後土木事務所企画調整室(☎22-2143)まで。

午後7時までの夜間延長窓口を開設しています

与謝野町では、週3回(各庁舎1回)次の業務に限り、夜間延長窓口を行っています。

- 開設曜日**
 <月>野田川庁舎 <水>本庁舎(岩滝) <金>加悦庁舎
- 夜間延長窓口業務**
- 出生、死亡、婚姻、離婚、転入、転出、転居の届け出
 - 戸籍、住民票の写し、印鑑証明、身分証明等の交付
 - 印鑑登録
- ※窓口では本人確認をしています。運転免許証等の身分証明書をご持参ください。

公の施設を管理する指定管理者が決定

平成19年10月1日から「岩滝母と子どものセンター」を管理する指定管理者が、議会の議決を得て決定しました。



- 施設名 岩滝母と子どものセンター
- 所管課 商工観光課
- 公募/非公募 非公募
- 指定管理者名 社団法人 宮津与謝広域シルバー人材センター
- 指定期間 1年6月

指定管理者制度とは

地方自治法の改正により、委託先が公共の団体等に限定されていた「公の施設」の管理運営について、民間事業者も含めた法人・団体等に委ねることが可能となり、民間活力によるサービスの向上や効率的な運営を図ることを目的として導入された制度です。

新しい人権擁護委員が決定

平成19年10月1日付けで、和田洋一さん(加悦)が人権擁護委員に委嘱されました。

人権擁護委員とは、地域で人権思想を広め、人権侵害が起きないように見守り、人権を擁護していく法務大臣が委嘱した民間のボランティアの方々です。

人権擁護委員の任期は3年で、現在与謝野町では、11人(加悦地域4人、野田川地域4人、岩滝地域3人)の委員の方が活動されています。

5月の憲法週間と12月の人権週間には、各庁舎で特設人権相談を実施しています。また、京都府地方務局宮津支局(☎22-2561)では、毎月2回、人権相談を実施しています。

人権問題で困っている人、悩んでいる人はお気軽に人権擁護委員にご相談ください。



↑人権擁護委員の和田洋一さん

9月の入札結果

入札日	工事番号	工事名	工事概要	工事場所	業者数	落札業者名	予定価格 (千円/税抜)	最低制限価格 (千円/税抜)	落札金額 (千円/税抜)	落札率 (%)	工事期間
9/28	19与特下第22号	明石地区面整備④工事	開削工 人孔・公共樹設置	明石	4者	江笠建材㈱	1,379	969	1,200	87.0	H19/10/11 ～11/9
9/28	19与道橋新工第21号	新波止場線側溝整備工事	自由勾配側溝工	岩滝	4者	足立石油㈱	2,373	1,709	2,180	91.8	H19/10/5 ～11/30
9/28	19与道橋新工第23号	岡ノ下線側溝整備工事	自由勾配側溝工	上山田	4者	榊井田建設	3,644	2,622	3,200	87.8	H19/10/5 ～11/30
9/28	19与農第7号	三田川頭首工転動ゲート整備工事	ステンレス製起伏 ゲート工	男山	17者	榊タナカ工務店	8,969	6,736	8,330	92.8	H19/10/11 ～H20/3/16
9/28	19与河川改工第2号	奥山川護岸改良工事	底張り工 根固め沈床防止工	三河内	17者	榊石田建設	8,325	5,706	7,770	93.3	H19/10/10 ～H20/3/28
9/28	19与保健工第1号	与謝野町国民健康保険診療所 屋根改修工事	屋根改修工	石川	11者	榊三野工務店	2,270	1,850	1,850	81.4	H19/10/4 ～11/20
9/28	19与道橋新工第22号	町道明石香河線改良(その7)工事	大型ブロック積工 盛土工、残土運搬工	明石	10者	山城建設㈱	29,890	22,049	22,049	73.7	H19/10/11 ～H20/3/31
9/28	19与農第8号	与謝野町農畜産物集出荷貯蔵 施設新築工事設計業務委託	貯蔵施設新築工事 設計業務委託	与謝	2者	一級建築士事務所 浪江建築事務所	930	—	680	73.1	H19/10/5 ～11/20

この欄で紹介する出生とお悔やみは、9月16日から10月15日までの届け出分です。役場窓口で届出の際に希望された方のみを掲載しています。

町内に配付している
広報誌には掲載しています



町内に配付している
広報誌には掲載しています



・まちなうごき・
 平成19年9月末現在
 人口 25,423人 (-37)
 男 12,008人 (-17)
 女 13,415人 (-20)
 世帯数 8,983戸 (-10)